

資料番号	9
------	---

令和4年1月19日
課名 土木建築局技術企画課
担当者 課長 木村
内線 3852

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業等の進捗状況について

1 要旨・目的

平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した公共土木施設の災害復旧事業について、進捗状況と見通し等について報告する。

2 現状・背景

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興については、被災された住民の皆様の日常が一日も早く回復するよう、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に基づき、最優先で取り組んでいる。

3 概要

(1) 対象者

被災された県民・事業者等

(2) 事業内容

平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した公共土木施設2,550箇所の災害復旧事業と、三篠川や主要地方道環状線などの改良復旧事業に取り組む。

(3) 進捗状況

ア 災害復旧事業

災害復旧事業については、改良復旧事業等により実施する箇所を除いた2,523箇所の令和3年12月末時点での進捗状況は表1のとおりである。

なお、令和3年7月豪雨及び8月豪雨により、工事中の箇所が再度災害を受けたことから、これらの箇所については完成時期が令和4年度にずれ込む見込みである。

イ 改良復旧事業

改良復旧事業については、令和5年度中の事業完了を目指しており、令和3年12月末時点での進捗状況は表2のとおりである。

表1 災害復旧事業の進捗状況

(単位：箇所)

建設事務所（支所）等	災害復旧事業被災箇所数（査定決定ベース）		
		契約済	
		完成	
西部	462	462	326
呉	219	219	163
廿日市	11	11	11
安芸太田	29	29	29
東広島	515	515	337
東部	450	450	438
三原	457	457	408
北部	141	141	139
庄原	236	236	181
広島水道	3	3	3
全体 (改良復旧事業等により実施する箇所を除く)	2,523	2,523 (100%)	2,035 (81%)
(全体) (改良復旧事業等を含む)	(2,550)	(2,544)	(2,043)

表2 改良復旧事業の進捗状況

区分	事業名	進捗状況（予定を含む）			完了目標
		用地	工事（工事数量に対する割合）		
			契約	完了	
道路	主要地方道 呉環状線【災害関連事業】	境界立会：100% 用地取得：20% (工事施工承諾含み100%)	護岸工：100% 法面工：100% 橋梁下部工：100% 橋梁上部工：100% 舗装工：0%	護岸工：86% 法面工：41% 橋梁下部工：0% 橋梁上部工：0% 舗装工：0%	令和4年度中
河川	沼田川及びその支川 【河川激甚災害対策 特別緊急事業】	境界立会：100% 用地取得：100%	護岸工：60% 掘削工：82% 築堤工：100% 堰改築工：100%	護岸工：46% 掘削工：79% 築堤工：55% 堰改築工：0%	令和4年度中
	三篠川 【災害復旧助成事業】	境界立会：99% 用地取得：79%	護岸工：60%	護岸工：23%	令和5年度中
砂防	ひよき川 【災害関連事業】	境界立会：100% 用地取得：100%	溪流保全工：100% 橋梁工：50%	溪流保全工：31% 橋梁工：0%	令和4年度中

(4) 予算（国庫）

災害復旧事業	:	21,935 百万円（繰越予算）
		5,695 百万円（令和3年度9月補正）
改良復旧事業 【呉環状線】	:	608 百万円（繰越予算）
" 【三篠川】	:	3,490 百万円（令和3年度当初予算）
" 【沼田川】	:	1,050 百万円（令和2年度2月補正）
" 【ひよき川】	:	178 百万円（繰越予算）

(5) 今後の対応

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の実施箇所のうち、人家に近接した箇所など県民生活に影響の大きい1,397箇所については、12月末時点で1,394箇所が完成している。

一方で、建設事業者の手持ち工事量が増大し、下請業者の確保が困難な状況が続く中、令和3年の豪雨により、人家に近接するなど早急に対応が必要な箇所が生じたことなどから、工事の進捗に影響が生じている。

このため、下請業者の確保に向け、事務所と連携して、県内各地域の建設業団体に改めて入札契約制度等の取組を説明したところであり、下請け参加への協力要請などの取組を継続して行っている。

引き続き、必要な対策を講じながら早期完成に向けて取り組む。

《令和3年12月に完成した災害復旧事業の一例》



(二) 徳良川（三原市大和町）



(一) 持丸川（庄原市西城町）

《令和3年12月の改良復旧事業の状況》



ひよき川（広島市安芸区）